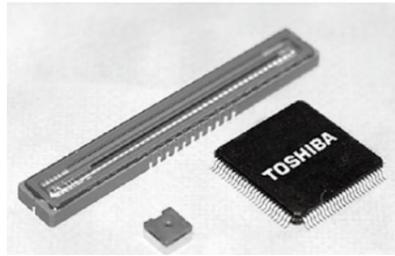


確かな技術力が凝縮された半導体 岩手東芝エレクトロニクス(株)

携帯電話、テレビ、電子レンジ、デジカメ、パソコン：これらはどうして動くのでしょうか。それは半導体の力によるものです。半導体はさまざまな製品に組みこまれ、電子機器の操作を可能にしています。普段目にするものはありませんが、この小さな小さな製品が、豊かで便利な現代生活を支えているのです。多くの電気機器の核となるICチップをつくっているのが、東芝グループの岩手東芝エレクトロニクス(株)です。用途に応じたチップの機能を生み出す技術は常に磨かれ、設計開発から製造・出荷までの体制を確立。それが、薄くて軽い携帯電話や、美しい画面の液晶テレビの製造を可能



半導体製品。同社は半導体の機能をつかさどるICチップを製造。写真はそのチップを樹脂などでパッケージした製品。これらがテレビ、冷蔵庫などの家電製品やスキャナー、コピー機、携帯電話などの画像製品のほか、幅広い分野で使用されている

住所：北工業団地6-6
見学：1カ月前までに予約
☎71-3003



取締役社長 吉澤 哲さん

にします。また同社の開発で、カメラに使われるICチップの超小型化が実現しました。「派手さはないが、キラッと光る東北のものづくり力」と吉澤哲取締役社長が表現するように、きたかみ生まれの半導体は、ものづくりに誠実に向き合う東北人気質の結晶ともいえます。東芝ブランドとして世界にわたり、多くの可能性を広げている半導体。同社では、医療や介護に役立つ製品の開発にも挑戦しています。

乳酸菌飲料のトップメーカー製品「ヤクルト」 (株)岩手ヤクルト工場

▶東日本全域に出荷される(左から)ヤクルト400LT、ヤクルト400、そして定番のヤクルト



◀(左から)ヤクルトカロリーーフ、ヤクルト300V、ヤクルトSHEsの3種類は北上から全国へ

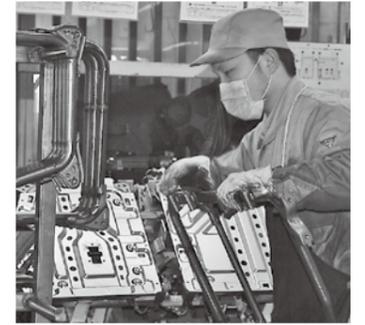
住所：相支町大松沢1-45
見学：原則前日までに予約
☎71-2828

誰もが一度は飲んだことのある「ヤクルト」が北上でもつくられていることは、工場見学者が多いことから認知度も高いでしょう。(株)岩手ヤクルト工場は、ヤクルトグループの東日本の基幹工場です。平成19年に完成し、先進の設備・施設を整えた世界最新鋭の工場。容器づくりから中身まで、一連の流れを担っています。6種類の製品を、一日に170万本生産し、北海道から関東エリアに出荷。一部は全国に出荷されます。それが①女性向けの「ヤクルトSHEs(シリーズ)②甘さとカロリーが半分になった「ヤクルトカロリーーフ」③乳酸菌シロタ株が1本に300億個、またビタミンEも入った「ヤ

クルト300V」。この3種類は北上の工場だけでつくられている商品です。最先端の検査機器で一本単位の検査を行い、衛生面で細心の注意を払います。また、人の味覚・嗅覚でもチェック。三浦昌三代取締役社長は「ヤクルトを飲んで健康になつていただきたい、一本一本間違いない製品づくりをしている」と、安全安心とともに健康への思いも込めて、皆さんへお届けしています。



代表取締役社長 三浦昌三さん



特集 暮らしの中から発見!! きたかみ生まれの製品

北上市内には製造業に携わる地元企業や誘致企業が多く、ものづくりが盛んに行われています。

幅広い分野で優れた「もの」がつくられています。皆さんはどんなものがあるかご存じですか？

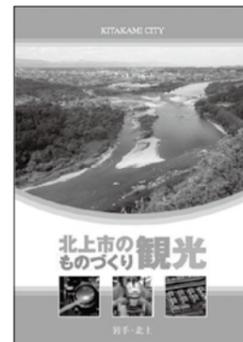
目や手に触れるものも触れないものも、

私たちの生活に溶け込み暮らしを支えている「きたかみ生まれ」。

今回は、^{*}北上市のものづくり観光パンフレットで紹介されている企業の中から、つくり出される「きたかみ生まれ」をご紹介します。

問い合わせ 工業振興課 内線3345

※北上市のものづくり観光



北上市は「産業観光」をキーワードに、市内観光の一つとして産業施設の見学を提案しています。東北有数の企業集積地である市の特徴を生かし、ものづくり産業を観光ルートに組み込んだ取り組みです。

市内企業の協力により作成した「北上市のものづくり観光」パンフレットには、一般の見学を受け入れる企業と産業施設を紹介するほか、観光地の位置関係が分かるガイドマップも掲載しています。

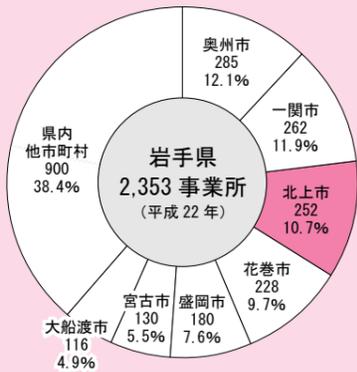
▷ものづくり観光に関する問い合わせ…商業観光課 内線 3352~3354



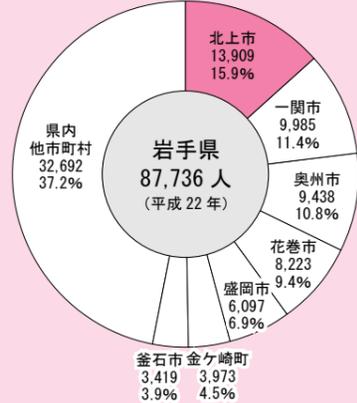
■製造業の統計情報

(工業統計調査結果報告書より)
※従業員数4人以上の事業所

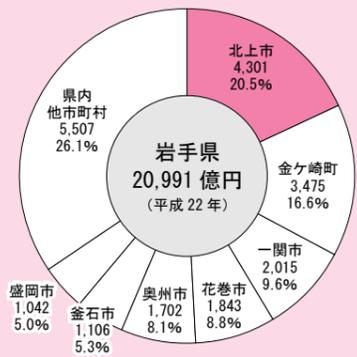
市町村別事業所数の割合



市町村別従業者数の割合



市町村別製造品出荷額等の割合



北上市の製造業における事業所数、従業者数、製造品出荷額などは、県内でもトップクラス。特に製造品出荷額などは4年連続第1位です。内訳として出荷額の多い業種は、電子が1,733億円で全体の40%を占め、続いて輸送の616億円(14.3%)、パルプ・紙が528億円(12.3%)です。



三菱製紙(株) 北上市事業本部長 (北上市ハイテクペーパー(株)代表取締役社長)

住所: 相去町笹根35
見学: 1カ月前までに予約 ☎67-3211

インクジェット用高級写真用紙「銀河の森」。サイズ展開はA4、写真L、名刺の3種類



製品のインクジェット用高級写真用紙「銀河の森」もお勧め」と田代直也三菱製紙(株)北上市事業本部長(北上市ハイテクペーパー(株)代表取締役社長)。「世界に誇る技術と設備で、地域だけでなく国内・海外へと製品を提供しています。」

「同社オリジナルのノウハウを持つ体制は、世界でも類を見ないといえます。」



「ナクレ」は暮らしに身近なタカミ生まれ(写真提供: 北上市ハイテクペーパー(株))

岩手の森林資源を生かした質の高い紙製品

北上ハイテクペーパー(株)

「ナクレ」で知られるティッシュペーパーやトイレットペーパーは、岩手県産を中心とした広葉樹から生まれた紙です。製造しているのは三菱製紙グループの北上ハイテクペーパー(株)。県産の原料を使い、地域の工場から生産されている「ナクレ」はフランス語で「真珠」を意味し、肌触りが柔らかい。パーシモンパルプ100%で赤ちゃんにも安心して使えます。ティッシュボックスの取り出し口にフィルムを付けない工夫をするなど、環境への配慮にも力を入れている同社は、適正な森林管理をしながら製品をつくることを証明する森林認証制度「FSC」を取得。また、北上飲食店組合の協力により、使用済みの割りばしを回収し資源として再利用しています。カラー用印刷紙や写真用インクジェット用紙に使われる原紙は、同工場が国内でトップ、世界で約20%のシェアを占め、広く使用されています。また、パルプから最



▲エコ・ドライブ電波時計アテッサは世界の都市時刻を瞬時に表示
◀プレスで時計の裏にふたを開けて、ケースが完成

いた時計づくりを進め、世界の時計産業界をリードし続けています。

「世界に誇れる時計の価値づくりとブランドの構築。お客さまに認められるものづくりができる人材の育成を目指している」と熊谷春雄代表取締役社長。地域に根づ

時を刻む時計からお客さま価値の創造へ

シチズン東北(株)



代表取締役社長 熊谷春雄さん

平成20年に完成した新工場には、時計生産を間近で見られるようにと見学スペースを設置。また小・中学生を対象とした「時計学校」は、地域の子どもたちも興味を持ってもらいたいと開校しています。「世界に誇れる時計の価値づくりとブランドの構築。お客さまに認められるものづくりができる人材の育成を目指している」と熊谷春雄代表取締役社長。地域に根づ

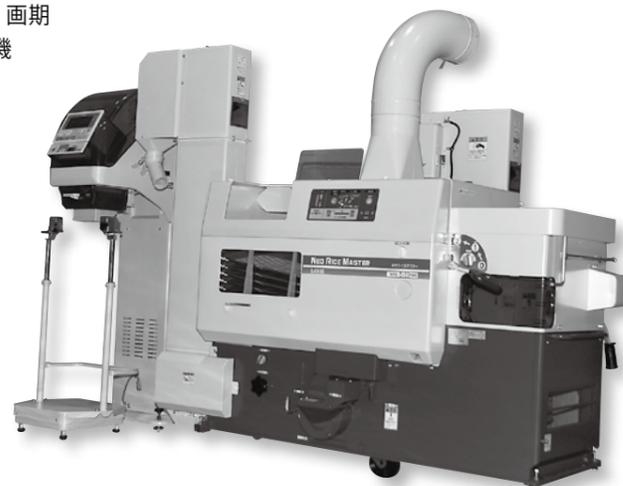
住所: 川岸1丁目16-1
見学: 1カ月前までに予約 ☎64-1111

もみすり機ネオライスマスター。国内シェアの5割を占める、画期的な揺動選別機つきもみすり機



専務取締役工場長 秋井文夫さん

機「マジックミル」(2ページ上段写真中央)はポットほどの大きさ。手軽に精米したのでご飯が食べられます。同工場内の販売ブースでは、サタケが製造する米の加工食品も展示。保存食にもなり、昨年の震災では大変役立つたそうです。米どころ東北での操業に秋井文夫専務取締役工場長は「地元の食材を用いた食品加工で地場産品の消費に寄与したい」と展望を話します。



「食生活」を支える米の加工機械

(株)東北佐竹製作所

「サタケ」と聞いて思い浮かぶのは、新幹線の窓から見えるネオンサインではありませんか? 穀類調整機械のトップメーカー(株)サタケ(広島県)の生産拠点である(株)東北佐竹製作所では、皆さんの食生活に欠かせないごはんに深く関わっています。もみ乾燥機、もみすり機、精米機など、国内での生産は同社が一手に引き受け、もみすり機に関しては市場の半分を占めるほど。鹿踊の絵が目印の花巻中央カントリーエレベーターや、和賀町藤根の大型ライスセンターにも納品されています。もみすりや乾燥、石・くず米を除く自動選別計量機などが農家をサポート。私たちもお米をおいしくいただけます。大型製品だけでなく、家庭でも精米できるよう製造した小型精米

応援します！北上市のものづくり補助制度

◎北上市高度技術者育成補助金

岩手大学大学院工学研究科金型・铸造工学専攻に、役員・従業員を入学させ授業料を負担する、金型または铸造関連企業に対し補助金を交付します。

▷対象者…次のいずれにも該当する企業

- ① 市内に事業所を有すること
 - ② 納期の到来した市税を完納していること
- ▷対象経費…平成23～27年度の間に大学に入学した役員・従業員の修業終了までの授業料。休学・退学などをした場合は、その年度は対象外
- ▷補助金額…授業料の2分の1に相当する額(1会計年度内で1企業25万円が限度)
- ▷申請期間…その年度の3月1日～15日の間
- ▷問い合わせ…工業振興課 内線3345

◎北上市企業設備投資奨励補助金

工場などを新設・増設する際に要した土地、建物および機械設備などの新たな固定資産税相当額を補助します。

▷対象者…日本標準産業分類による製造業、道路貨物運送業、倉庫業およびこん包業、卸売業で次の要件を具備するもの

- ① 固定資産投資額が3千万円以上
 - ② 新規雇用者が5人以上
 - ③ 購入した土地にかかる固定資産税を補助対象とする場合は、1年以内に工場などの建設に着手
- ▷対象経費…事業に要する土地、建物、機械設備(償却資産については、新たに設置した工場などに付属する設備に限る)
- ▷対象地域…都市計画法における用途地域のうち工業専用地域・工業地域、北上工業団地、北上機械鉄工業団地、北上産業業務団地、北上流通基地
- ▷補助金額…対象経費にかかる固定資産税相当額

固定資産投資額	設置の別	補助金額
50億円未満	新設	新設分の固定資産税相当額以内
	増設	増設分の固定資産税相当額以内とし、同一工場などで毎年2,000万円を限度とする
50億円以上	新設または増設	新設または増設分の固定資産税相当額以内で市長が定める額

▷問い合わせ…企業立地課 内線3362

◎北上市産学共同研究補助金

中小企業者が大学などの試験研究機関と共同研究を行う場合に、その費用の一部を補助します。

▷対象者…次のいずれにも該当するもの

- ① 中小企業基本法第2条に規定する中小企業者および技術研究開発を行う団体で、市長が認めた者が市内に設置している事業所
 - ② 納期の到来した市税を完納している者
- ▷補助対象…主に市内で行う市長が認める共同研究
- ▷補助金額…大学などに支払う経費の2分の1以内。市内の大学などの場合は3分の2以内。ただし、50万円が限度。申請は1年度中に1企業1回
- ▷問い合わせ…市基盤技術支援センター ☎71-2181

住所：和賀町藤根18-25-2
見学：1カ月前までに予約 ☎73-5221



代表取締役社長 片山仁彦さん

『RS☆R』の名で知られる、自動車のサスペンション(足回り)に使われるばねはきたかみ生まれ



車にも使用されています。片山仁彦代表取締役社長は「北上や全国の皆さんのお役に立てるのはうれしいこと」と、社会貢献になるものづくりを実感しています。使う人の安全性と快適性を考えてつくられた、きたかみ生まれのばねは、私たちの生活に溶け込んでいます。

住所：相去町平林15-13
見学：1カ月前までに予約 ☎67-1111

トヨタ自動車「ラクティス」の内装 (写真提供：トヨタ紡織東北(株))



続いて関自岩手工場内に金ヶ崎工場を新設し、拠点を東北へとシフトさせました。21年、商号を現在のトヨタ紡織東北(株)に変更。翌年には宮城県黒川郡大衡村に宮城工場を新設しました。地域に根ざした取り組みとして、地元の祭りへの協力、環境クリーン活動などを実施。22年には地域貢献活動企業褒賞(市および北上市協働推進市民会議主催)も受賞しています。

今年7月には関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北が統合し、新しくトヨタ自動車東北が発足。小型車(コンパクトカー)の拡充に、同社もその一翼を担うこととなります。



1本の橋りょうを切り分ける作業

住所：村崎野14-426
見学：1カ月前までに予約 ☎66-2021

「つくったものが形として残るといえるのは誇りになる」と、鈴木誠一工場長。同工場は、岩手県と北上市の誘致企業の第1号。昭和33年に操業を開始し、以来半世紀にわたり安全で高品質な製品を提供し続けています。

自動車を中心としたモノの動きに欠かせない「ばね」 東北日発(株)



目に触れることはないけれど、私たちが使うものに多く使われているばね。車、家電製品、シャワーペンシルなど、大きさも使われる場所もさまざまです。隠れた場所で生活を支えるばね製品といえば、世界トップのばねメーカーニッパツグループ。その一員の東北日発では、主に自動車に使われるばねをつくっています。また、小さくさまざまな大きさのばねを、一つの工場で生産する所は全国でも少ないといえます。

一台の自動車には何百種類ものばねが使われ、快適な走りや安全性を保っています。特に、富士重工のインプレッサには、同工場で作られた懸架用ばねが全量使用されています。また、自動車用シートフレーム(座席の骨組み)も製造し、関東自動車工業岩手工場やセントラル自動車で製造される

自動車のシートやドアなどの内装品 トヨタ紡織東北(株)



取締役社長 鈴木栄次さん

北上の生活に欠かせない交通手段、自動車。東北は近年、関東自動車工業岩手工場やセントラル自動車など、車の生産拠点として展開されつつあります。これらの工場で生産される車の内装品を手掛けているのが、トヨタ紡織東北(株)です。北上工場ではドアやクッション材となるウレタンを製造。その後金ヶ崎工場を組み立てられたシートは、最新の小型ハイブリッド車アクアやラクティス、ベルタなどトヨタ系自動車の乗り心地を支えます。同社は昭和32年、池田製作所として横浜に発足。その後(株)関東シート製作所に商号を変更し、関東圏を中心に操業してきました。長引く景気の低迷や価格の厳しい競争といった大きなうねりの中で、さらなる成長のため、平成14年、北上に本社を移転。

橋や鉄道路線づくりに必要なコンクリート部材 ピー・エス・コンクリート(株)北上工場



工場長 鈴木誠一さん

橋や道路など、快適な生活とまちづくりに欠かせない公共物。これらコンクリート製の構造物をつくるための、建築・土木部材を手掛けているのがピー・エス・コンクリート(株)本社東京です。メインの製品は橋の部材。数十層そして小単位にもなる橋りょうが北上工場の敷地内でつくられ、運べる大きさに切り分けられて現場へ。国見橋、九年大橋など、市内のコンクリート製の橋の多くに同工場が関わっています。鉄道に使われる枕木は東北本線、北上線、釜石線はもちろん、岩手・秋田県域の線路をカバー。新幹線の線路に敷かれるコンクリート版軌道スラブも製造し、県内区間に使われています。

また、北上市と西和賀町をつなぐ国道107号(仙人峠)に設置された、雪の吹きだまりを防ぐスノーシエッド、北上陸上競技場の観客席、藤沢野水場のタンクも同工場のコンクリート部材によるものです。